

子どもに
やさしい
まちづくりPJ

-vol. 7-

子どもに やさしい学校

※PJ=プロジェクト

5月から地域学校協働本部や学校の状況を中心に載せてきました。今からは視点を变えて学校の取り組みや様子を紹介します。今月は早来学園です。

子どもにやさしい学校とは？

「子どもにやさしい学校」というと、あたかも子どもの意見を何でも聞いて、子どもにとってのユートピアをつくるかのようなイメージを持つ方もいるかもしれません。そうではありません。安平町が考える「子どもにやさしい」とは自分の考えや意見を当たり前に言えることです。早来学園では、自分の考えや意見を言えることを学校づくりに

活かす取り組みをしています。

学校の校則は自分たちが決める

早来学園の開校にあたって、校則改定委員会がつけられました。構成は学校の先生だけでなく、保護者、地域の大人、それに子どもたちです。改定委員会では服装、髪型、髪の毛の色なども話し合いました。校長先生や学校側が最初から案を出すのではなく、子どもの意見を聞いて、子どもも一人の委員として尊重し、決めるやり方です。新しい校則はジェンダーフリー等の考えが反映された現代的なものとなり、子どもたちが参加した意義はとても大きかったようです。

自分が生きる世界を自分で変える。それができれば、学校はもっと面白いなる。

早来学園は、世界を自分で切り開くエネルギーのある児童生徒を募集しています。

遊びのきまり
学園生活のすすめ
役割
自分たちの手で、自分たちのために
変えてみませんか？

#キミがつくる学校
はきつと面白い。

早来学園
ルールメイキングプロジェクト
2023年9月、スタート！

開校記念日を決めるのも子ども

校則を自分で決めた子どもたちが、次に検討したのは、開校記念日です。今年が開校記念式典があった8月26日を開校記念日にしましたが、来年の記念日をどうするか、校長先生が子ども達に候補を挙げてほしいと投げかけました。震災があった9月6日、児童生徒が開校集会を開いた5月2日。しっかりと考え、議論しました。従来の「決められた枠の中で考える」子どもの参画ではなく、枠そのものも考える子どもを主体とした学校運営が動き始めています。

ルールメイキング プロジェクト

開校から半年が過ぎ、今、早来学園では「ルールメイキングプロジェクト」が動いています。学校にあるルールは校則だけではありません。「校則、遊びのきまり、学園生活のすすめ」これらも自分たちで考え、自分たちの学校をつくろうという取り組みです。

- ①自分の権利、他者の権利 みんなの権利を大切に
- ②みんなで協力して、他の意見を受け入れながら、一つのルールをつくっていく
- ③自分たちが生きる世界を自分たちで変えていく力をつける

これはプロジェクトの最初に子どもたちへ配られた資料です（左記参照）

子どもにやさしい学校は、やさしい社会をつくり、その社会をつくる大人を育てていくのだと思います。